

NPO紙飛行機サイエンス 2024年(令和6年) 活動報告

1/2

2025.1.17 版

総括

2023年に引き続き、コロナ禍明けで紙飛行機教室の講師派遣の問合せ数は徐々に増加してきましたが、開催時期や教室環境などの制約で開催には至りませんでした。また、紙飛行機イベントの参加者数もコロナ禍前のレベルには未だ達しない状況です。ここは、我慢しながら、焦らずじっくり構え耐えることにしました。

1. 東京臨海広域防災公園・そなエリア東京での紙飛行機イベント

① 親子で飛ばそう紙飛行機体験会

3/10、5/12 天候不良のため中止 10/6

2023年は天候に恵まれず計画していた3回の体験会はすべて中止となりましたが、2024年は2回開催することができました。使用する機体はすべて調整済みのもので、ベテランのスタッフが飛ばし方をコーチングします。原っぱを笑顔で3時間も走り回った親子もいました。紙飛行機の想像以上のフライトを満足してくれました。



② 親子で遊ぼうスーパー☆紙ヒコーキ教室A 3/24、8/4

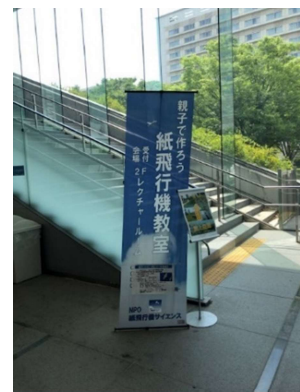
この教室は理事長が2021年、2022年にNHKすいえんサーで指導した折り紙ヒコーキを教材にしています。参加者は低学年のお子さんと保護者の方々です。3/24開催分は悪天候のためにフライトを室内の長い廊下で滑空試験をしました。また、8/4開催分は熱中症警戒アラート発令中ということで、前回と同様に室内でのフライトになりました。

また、参加者が少なく今後、イベント情報のSNS活用などの課題が残りました。



③ 親子で作ろう紙飛行機教室B 4/14、5/26

本教室はホワイトウイングススカイラブⅣを教材にして、親子でそれぞれ機体を製作して調整、フライトを体験しました。製作会場はレクチャールームを利用して、製作に集中してもらえます。開催いたクラスは午前2回、午後1回でしたが参加を敬遠された方も多く見受けられました。また、小学生以下の参加者が希望により二宮杯の予選記録とすることができ、5名のお子さんがエントリーしました。そして、決勝へは2名の方が進出されました。



④ 親子でチャレンジ！第29回二宮康明杯全日本紙飛行機選手権大会 有明地区予選会 4/28、6/30、8/16

滞空時間競技の予選会ですので、成績は天候に大きく左右されますが、何とか計画した3回を開催できました。会場は海に近いためにやや強めの風が常に吹いています。しかし、参加した選手たちは風に負けないで自己記録の更新に頑張っていました。



2. 講師招聘による紙飛行機教室

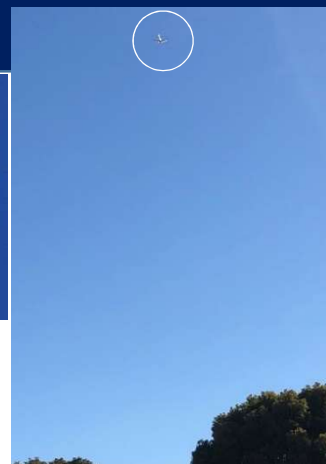
年間を通して教室の開催の問合せは12件ありましたが、開催時期、予算、場所などの条件が合わず実施までには至りませんでした。また、紙飛行機は簡単、手軽というイメージが定着するために、当方が希望する感動と歓声が上がる教室の実現条件などをより具体化していく中で、折り合いがつかず失注することも多いです。そのために依頼元へ教室依頼のガイドをホームページに掲載して情報発信しています。

3. 教材開発

海上自衛隊P-1対潜哨戒機

2023年は教材開発としてホンダジェットをリリースさせていただきましたが、2024年は海上自衛隊の航空機です。これまで、ホワイトアローT-5練習機、P-3C対潜哨戒機と海上自衛隊航空機シリーズを開発してきました。

試作機は製造元の川崎重工(株)(名古屋)と海上自衛隊へお渡ししており、評価していただいております。ご担当者からは好評価との一報はいただいておりますが、商品としてのご発注をいただけるかを首を長くして待っているところです。



第29回スカイスポーツシンポジウム(主催日本航空宇宙学会) 12/7

スカイスポーツシンポジウムが東海大学品川キャンパスで開催されました。これまで24回を発表した理事長の出番はありませんでしたが、模型飛行機などのスカイスポーツ関係の方々とは顔を合わせる数少ない機会でもあります。シンポジウムでは紙飛行機やフリーフライト機に関する発表が数点ありました。どうも、紙飛行機を実際に飛ばした経験の少ない方々の発表を聴講していて、特に「機体調整」についてはきちんと文書で残しておく必要性を感じました。

そこで次回、2025年には理事長が「仮題:ペーパーグライダーの調整と機体開発」というテーマで発表することを画策することにします。



4. 第29回二宮康明杯全日本紙飛行機選手権大会 決勝大会と実行委員会 11/2・3

2023年11月に二宮康明先生(日本紙飛行機協会会長)がご逝去され、決勝大会の開会式(11/3)では参加者全員で黙とうし、先生の安全に飛ばすというご指示を確認しました。この決勝大会には全国約25か所の予選会で全国ランキング上位の記録を残した選手たちが集まりました。

有明の紙飛行機教室と予選会にすべて参加した小学4年生のA君は2種目に参加し3位と6位の成績を残しました。次回は優勝を狙って頑張るとのことで、全面的にサポートしたいと思っています。因みに、次回第30回決勝大会は2025年9月、札幌・つどーむとのことです。

尚、決勝大会前日には実行委員会が開催され各予選会を主催する各紙飛行機クラブの代表者が参加し、諸課題と次回開催について検討・審議しました。今後とも決勝大会の継続開催を推進するためには経費などの透明性が必要などの話がありました。

